

南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 30 週 2025 年 7 月 21 日 ~ 2025 年 7 月 27 日

今週のコメント

南丹保健所管内では、ヘルパンギーナと伝染性紅斑(リンゴ病)が
警報レベル継続中です。

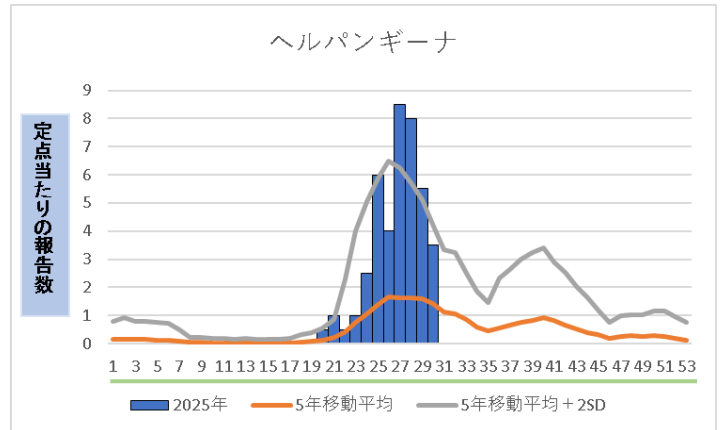
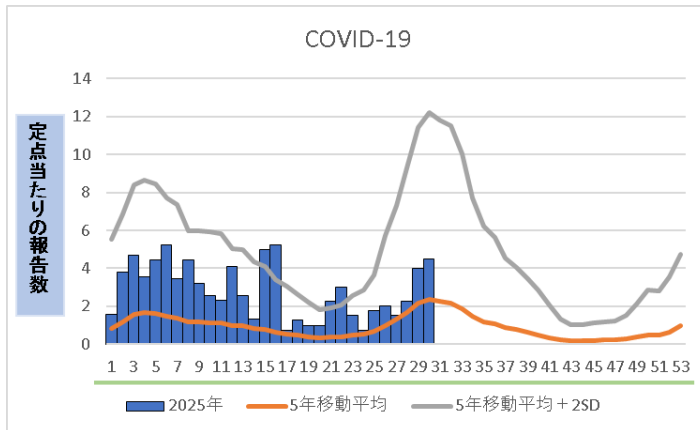
流行性耳下腺炎が注意報レベル解除になりました。

京都府内では伝染性紅斑(リンゴ病)が警報レベル継続中です。

2025 年第 30 週の報告です。

- 新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は南丹 4.50(前週 4.00)、京都府 4.41(前週 3.22)となっています。
 - ヘルパンギーナの定点あたりの報告数は南丹 3.50(前週 5.50)、京都府 2.62(前週 2.80)となっています。
 - 伝染性紅斑の報告数は南丹 1.50(前週 1.00)、京都府 1.38(前週 1.85)となっています。
 - A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたりの報告数は南丹 1.50(前週 0.50)、京都府 2.36(前週 3.55)となっています。
 - 全国的に百日咳(全数報告疾患)の流行が継続しており、府内でも報告が続いています。第 30 週においては南丹保健所管内で 0 件(前週 0 件)、府内で 24 件(前週 29 件)報告されました。長引く咳には注意し、乳幼児は予防接種を確実にまいりましょう。
- 京都府の百日咳に関する情報は[こちら](#)を確認して下さい。
百日咳に関する情報は[こちら](#)を確認して下さい。

今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



※横軸は週数 縦軸は定点あたりの報告数を示しています

- 『5 年移動平均』は、過去 5 年間の平均値の変化を表しています。
- 『5 年移動平均+2SD』は、過去 5 年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約 95%がこの線より下に収まるとされる基準です。

ヘルパンギーナとは…

乳幼児を中心に、主に夏に流行する感染症です。

症状は、感染してから 2~4 日後に、突発の発熱に続いて、喉に痛みと水泡が現れます。発熱は 1~3 日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを引き起こします。2~3 日以内に回復することが多いですが、合併症として、熱性けいれんや脱水症、髄膜炎、心筋炎などを引き起こすこともあり注意が必要です。

感染経路は、主に経口感染、接触感染、飛まつ感染です。急性期には、のどからウイルスが排泄されるため、咳をした時の飛まつにより感染します。また、急性期から回復期(発症後 2~4 週間程度)にかけて、便からウイルスが排せつされるため、便がついたおむつや下着などに触れた後は、しっかり手洗いをしてください。

予防には、日頃からの“手洗い、うがい”が大切です。流水と石けんでしっかりと手洗いをしましょう。

ヘルパンギーナについてより詳しく知りたい方はこちらのページもご覧ください。

[ヘルパンギーナ\(厚生労働省\)](#)

各定点把握疾患 発生状況(南丹管内)

	警報レベル		注意報	R7.30w		前週定点 (参考)
	開始	終息		定点当たり 報告数	前週比	
インフルエンザ*	30	10	10(流行1)	0.25	↘	0.50
新型コロナウイルス感染症				4.50	↗	4.00
RSウイルス感染症				0.00	→	0.00
咽頭結膜熱	3	1		0.00	↘	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4		1.50	↗	0.50
感染性胃腸炎	20	12		0.00	↘	1.00
水痘	2	1	1	0.50	→	0.50
手足口病	5	2		0.00	↘	2.00
伝染性紅斑	2	1		1.50	↗	1.00
突発性発しん				0.50	→	0.50
ヘルパンギーナ	6	2		3.50	↘	5.50
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	↘	5.00
急性出血性結膜炎	1	0.1		0.00	→	0.00
流行性角結膜炎	8	4		0.00	→	0.00

参考資料: [京都府感染症情報センター](#)

急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RS ウイルス、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスは、流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、未知の呼吸器感染症発生時に迅速に探知する等の目的で第 15 週より開始となりました。



○南丹保健所管内第 30 週報告数は 200 件(定点当たりの報告数:50.00)でした。

[京都府の情報はこちら](#)

最新情報は下記のリンク先でご確認ください(関連リンク)

・[京都府感染症情報センター](#)

更新時期: (原則) 毎週木曜日 14 時 前週分の状況を更新

・[感染症の情報\(国立感染症研究所\)](#)